

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県伊勢佐木警察署協議会
日時	令和5年10月26日（木）午前10時から正午までの間
場所	神奈川県伊勢佐木警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 織茂圭賛、白井崇雄、木村友之、野村真人、山森典子、蒲谷千恵、山下大輔 計7人</p> <p>2 警察署側 署長 倉林徹、副署長 塩田信之、会計担当次長 千秋昭蔵、生活安全担当次長 鵜田直樹、刑事担当次長 村上直幸、地域担当次長 小川敏行、調査官 早野康隆、生活安全第一課長 湯川直樹、生活安全第二課長 甲斐由一、交通課長 田口晃、警備課長 田部勇二 計11人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	<p>1 前回諮問「火山対策について」の答申概要</p> <p>(1) 火山対策の情報共有</p> <p>ア 小学校や木造地域などへの、火山対策を組み込んだ情報発信（特に降灰などの処理方法の知識）</p> <p>イ 火山対策は行っていない組織に対する講演などの実施</p> <p>ウ 情報発信の際における、外国人居住者向けの多言語での発信</p> <p>(2) 交通路等の警戒活動及び対策</p> <p>火山災害に限られたことではないが、道路の復旧、交通の確保は、災害発生時の生命線になることから、平素からの対策、想定を行ってほしい。</p> <p>(3) 備品不測の解消</p> <p>火山の噴火が起こり、火山灰など降灰するような状況になると、伊勢佐木警察署ではマスクなどの備品が不足していると感じるので、補充体制をきちんと取ってほしい。</p>
	<p>2 措置結果</p> <p>火山対策の情報共有</p> <p>(1) 伊勢佐木地区駐車場連絡協議会において、当署警備課長が駐車場管理者を対象に「火山対策」の講話を実施した。</p> <p>(2) 当署管内の小中学校において、当署警備課員が、教職員及び全生徒を対象に火山対策を含む防災講話を実施した。</p> <p>(3) 当署管内の日本語学校3校に対し、「留学生のみなさんへ～知っていますか？火山灰の影響～」と題するチラシの掲示及び配布を依頼した。</p>
	諮問
	「電動キックボードについて」
	答申
<p>1 若い世代は法律を理解していないことから、若い世代への教育を実施してほしい</p> <p>2 企業に対し、レンタルする際の短時間教育や、乗る前の義務教育のような仕組みづくりを促してはどうか。</p>	

	業務説明
	前四半期（令和5年7月から9月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和5年10月から12月まで）の業務推進重点については、事前に資料を委員に配布し説明した。
備 考	視察
	電動キックボードの展示及び武道訓練の視察を実施した。
	視察後の協議会からの意見
	<ol style="list-style-type: none"> 1 電動キックボードを実際に見たり乗ったりすることができて、イメージがわかりやすく、諮問に入りやすかった。 2 電動キックボードには、ヘルメットを収納する場所がなく、これではヘルメットの着用を義務付けることは難しいのではと感じた。 3 電動キックボードは、やや不安定な乗り物だと感じた。 4 武道訓練を見て、やはり警察官だなと心強く思った。